

犬居小で土砂災害講座

浜松市天竜区の犬居小はこのほど、土砂災害講座を同校で開いた。3～6年生の16人が、土砂災害の種類や前兆現象、対策などを学び、災害への備えについて理解を深めた。

浜北・天竜災害ボランティアコーディネーター連絡会副代表の橋本晋さん(51)が講師を務め、座学や実技を通して「自分の命は自分で守る」こ

との大切さを強調した。橋本さんは土石流や地すべりなどの特徴を映像で紹介したり、避難場所と避難所の違いについて説明したりした上で、「生き残っても生き延びることはとても大変なこと。自分の命を守るために何をすべきか家族と一緒に考えてみてほしい」と呼びかけた。

児童は、災害時を想定した段ボール

ベッドの組み立て作業も体験し、友人らと協力してベッドを完成させた。

6年の大石陽翔さん(12)は「ハザードマップで危険な場所を確認しておくことが大事だと分かった。懐中電灯などいざという時のために用意したい」と話した。

(2025年5月26日付西部版)



段ボールベッドを組み立てる児童
浜松市天竜区

- ①写真の児童は何を組み立てていますか。()
- ②記事中に書かれている「土砂災害」の種類を二つ書きましょう。
() ()
- ③見出しの□に、この土砂災害講座で児童が学んだことを「呼びかけの言葉」で入れたいと思います。15字以内で書きましょう。

				5						10				15

- ④災害に対して、あなたが日頃から心がけていることを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

				5						10				15
				20						25				30

【学習のポイント】

新聞には、災害への備えについて参考になる情報がたくさんあります。自分事として読もう。

※対象は小学校～中学校／生活、国語、社会、特別活動、総合



段ボールベッドを組み立てる児童
浜松市天竜区

犬居小で土砂災害講座

浜松市天竜区の犬居小はこのほど、土砂災害講座を同校で開いた。3～6年生の16人が、土砂災害の種類や前兆現象、対策などを学び、災害への備えについて理解を深めた。

浜北・天竜災害ボランティアコーディネーター連絡会副代表の橋本晋さん(51)が講師を務め、座学や実技を通して「自分の命は自分で守る」こ

との大切さを強調した。橋本さんは土石流や地すべりなどの特徴を映像で紹介したり、避難場所と避難所の違いについて説明したりした上で、「生き残っても生き延びることはとても大変なこと。自分の命を守るために何をすべきか家族と一緒に考えてみてほしい」と呼びかけた。

児童は、災害時を想定した段ボール

ベッドの組み立て作業も体験し、友人らと協力してベッドを完成させた。

6年の大石陽翔さん(12)は「ハザードマップで危険な場所を確認しておくことが大事だと分かった。懐中電灯などいざという時のために用意したい」と話した。

(2025年5月26日付西部版)

- ①写真の児童は何を組み立てていますか。()
- ②記事中に書かれている「土砂災害」の種類を二つ書きましょう。
() ()
- ③見出しの□に、この土砂災害講座で児童が学んだことを「呼びかけの言葉」で入れたいと思います。15字以内で書きましょう。

					5					10				15

- ④災害に対して、あなたが日頃から心がけていることを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

					5					10				15
					20					25				30

【学習のポイント】

新聞には、災害への備えについて参考になる情報がたくさんあります。自分事として読もう。

※対象は小学校～中学校／生活、国語、社会、特別活動、総合

＜解答例＞

- ①段ボールベッド
②土石流・地すべり
③(例)自分の命自分で守ろう(10字)
命を守るため家族で考えて(12字)
危険な場所確認しよう(10字)
生き残り生き延びよう(10字) など
④(例)津波避難に備えて懐中電灯や靴をベ

ッドの近くに置いている。(28字)
備蓄用の水や食料の消費期限を定期的に確かめ、補充している。(29字)
予想される災害や避難場所などについて家族で話し合っている。(29字) など

＜解説＞

- ①写真や本文から読み取ろう。
②本文11行目に書かれているね。

- ③本文中には、「 」の中などに手掛かりになる言葉や使えそうな言葉がたくさんあるよ。それを見つけ、「呼びかけ」の形にしよう。
④記事中の例も参考にしながら、自分事として答えよう。自分の身の回りに起こりやすい災害を踏まえて準備しておくことが大切だね。

作問者は静岡新聞NIEコーディネーター・矢沢和宏



もっとやってみよう!と思ったら、「静岡新聞NIEワークシート」を検索してね。